

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第5期） 令和5年度の取組結果の概要

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第5期）の概要

- (1) 計画期間
令和5年度から令和9年度まで（5年間）
- (2) 温室効果ガス総排出量削減目標
令和9年度までに基準年度（令和3年度）から19.2%削減
- (3) 重点取組
 - ア 効率的な施設の運営
 - イ 省エネルギーな設備の導入

2 エネルギー使用状況、温室効果ガス排出状況

エネルギー使用状況

項目	単位	令和3年度	令和5年度	
		基準年度	実績	令和3年度比
ガソリン	kL	22.4	21.6	△3.6%
灯油	kL	113.8	115.9	1.8%
軽油	kL	7.9	15.6	97.5%
A重油	kL	21.6	10.6	△50.9%
液化石油ガス (LPG)	t	4.5	6.6	46.7%
都市ガス	千m ³	919.6	570.6	△38.0%
電気	千kWh	15,857.3	15,241.4	△3.9%
公用車	千km	332.9	390.6	17.3%
カーエアコン	台	74.0	78.0	5.4%
笑気ガス	kg	2.0	0.0	△100.0%

温室効果ガス排出状況（単位：t-CO₂）

項目	令和3年度	令和5年度	
	基準年度	実績	令和3年度比
ガソリン	51.9	50.0	△3.7%
灯油	283.4	288.7	1.9%
軽油	20.4	40.2	97.1%
A重油	58.4	28.7	△50.9%
液化石油ガス (LPG)	13.4	19.9	48.5%
都市ガス	2,050.7	1,272.5	△37.9%
電気	5,777.8	5,548.6	△4.0%
公用車	2.3	2.8	21.7%
カーエアコン	1.1	1.1	0%
笑気ガス	0.6	0.0	△100.0%
合計	8,260.0	7,252.6	△12.2%

- ※ 取組効果を正當に評価するため、基準年度の排出係数を固定して CO2排出量の算定を行っています。
- ※ 最新の排出係数による温室効果ガス排出量： 7,217.0 t-CO2（基準年度比12.6%減）
- ※ 数値は四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

【結果】

- (1) 令和5年度温室効果ガス排出量は、令和3年度と比較し12.2%減少しました。
- (2) 温室効果ガス排出量の増減の主な理由は、次のとおりです。

【温室効果ガス排出量の増減の主な理由】

主な理由（増加）	主な理由（減少）
<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、行動制限が緩和されたことから、次の要因が考えられます。</p> <p>①軽油：マイクロバス等の走行量が増加したため。 ア 使用量 1,036 L → 6,583 L イ 走行距離 5,620km → 13,990km</p> <p>②LPG：日時計の丘公園の使用量が増加したため。（コテージ及び農家レストランで使用） ア LPG使用量 2,978kg → 5,278kg</p>	<p>①A重油：西脇病院において令和3年度に非常用発電機を含む病院施設のフル点検を行い、重油を補充したため。（3年に1回点検を行っており、次回の点検は令和6年度を予定している。） ア 重油使用量 13,356 L → 1,300 L</p> <p>②都市ガス：西脇病院において令和3年度はコロナ禍で各病棟の換気を行っており、空調設備に負担がかかっていたため。 ア 都市ガス使用量 753,869m³ → 401,544m³</p>

3 主な取組

- (1) 重点取組
 - ア 効率的な施設の運営
 - 出会地区浄化センターの廃止
 - 岡崎上王子地区浄化センターの廃止
 - 春日浄水場の廃止
 - イ 省エネルギーな設備の導入
 - 黒田庄浄化センター長寿命化工事（機器更新）
 - 西脇病院のガスコージェネレーションシステムの有効活用
- (2) その他の取組
 - ア 節電対策の徹底
 - (ア) 公共施設における不使用場所の消灯（執務室・会議室）
 - (イ) 空調機器の適正な温度管理・稼働時間の短縮
 - (ウ) 定時退庁の推進（水曜日）
 - (エ) パソコン、コピー機器等の節電モードの設定 ほか
 - イ 各課・施設における活動量（温室効果ガス総排出量）の取りまとめ